様式 5

平成 29 年度　学術振興基金助成による成果報告書

平成 29 年 6 月 2 日

学　長　　殿

所属部局・職名 福島大学大学院 共生システム理工学研究科 2 年 産業システム分野 技術経営戦略研究室(石岡 賢研究室)

申　請　者　名 木元　敦

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 （学術出版・叢書・学会等運営・学会参加） 学術振興に関する事業 （学生・事務職員・その他の特別事業）
事　　業　　名	2017 2nd International Conference on Business, Economics and Management (BEM 2017)
事業実施期間	平成 29 年 5 月 26～平成 29 年 5 月 27 日
成 果 の 概 要	平成 29 年 6 月 28 日～平成 29 年 6 月 29 日にロシア国モスクワ、ホリデイインモスクワ レスナヤにて開催された 2017 2nd International Conference on Business, Economics and Management (BEM 2017)に参加し、研究成果を発表した。発表論文の枚数は 6 ページです。 発表のタイトルは、” Innovation Management with Brand Innovation Virtuous Cycle ”である、近年の市場の成熟化、コモディティ化、顧客ニーズの多様化などの要因によって、企業の持続的成長が困難になっており、新たな価値を創造するイノベーションの重要性が増している。しかし、近年は製品規格の統一化やモジュール化、意味的価値の重要性の増加などの要因から、イノベーションの実現が困難になっている。本研究では、こうした状況に対応するために、イノベーションにおけるブランドの役割に注目して研究を行った。本研究は、ブランドとイノベーションの好循環の関係を明らかにした ”The brand-innovation virtuous cycle ”をもとに、ブランドを活用しイノベーションを実現する手法の検討を行った。具体的には、”The brand-innovation virtuous cycle ”の各段階を実現する手法として技術ブランド、ブランド拡張、CRM(Customer Relationship Management)を用いることで、”The brand-innovation virtuous cycle ”を発展させ、意味的価値が重要な近年の市場に対応したイノベーション手法であることを示した。 以上のことから、今回の学会発表は、経営工学への学術的な貢献をしたと考えられる。また、海外の学会に参加し、今後の研究内容の発展につながる貴重な経験をすることができ、本学会への参加と発表は、有意義なものだった